



北リアスの風

1

院長あいさつ

2

新任医師の紹介

1

院長あいさつ

岩手県立久慈病院

新年度を迎えて

今年も、久慈病院は69名の新採用・転入者を迎えて新年度をスタートしました。

医局には5名の初期臨床研修医に加えて各診療科に若い先生方を沢山迎えて、活気がみなぎっております。

今年は平成最後の年となり、昭和生まれの年代としては二回目の年号変更となり、感慨深いものがあります。昭和から平成への移行は昭和天皇の崩御から慌ただしく進みましたが、今回は今上天皇のお言葉により、退位される事が決定後、段階的に準備が進められ、元号も4/1に「令和」と発表され、紙幣の変更予定も早々に決まり、着々と新しい時代への準備が進んでいます。

平成の30年間で日本は高齢化社会へと移行し、岩手はそのトップランナーとして急激な医療需要の変化に対応しています。地域の人口は今後も減少しますが、高齢者層の人口は今後約10年変わらず、高齢者の救急症例割合はしばらく減少しない見通しです。そして増加している高齢者は、多くの疾患を持ち、多くの生活問題を抱える方がほとんどです。

このような高齢者の医療問題は急性期医療の対応だけでは解決できません。

「その人の生活に返す」事を初診時から強く意識して、医師のみならず多くの職種が関わっていかなければいけません。昨年立ち上げた「入退院支援部門」により、入院前の栄養状態、認知機能、家庭環境などをより早期から多職種によって評価され、その情報を共有して最善の対応を協議検討して進めています。退院支援には、回復リハビリ病棟・地域包括ケア病棟などの病院機能も、これまで以上に活用していきたいと思います。



そして退院後も、久慈医療圏の医療と介護に関わっている多くの施設・スタッフと我々久慈病院のスタッフとが切れ目無く繋がっていかなければいけません。その情報共有ツールとして重要な役割を果たしているのが情報ネットワーク「北三陸ネット」です。ネット登録者の数も医療圏人口の約14%にあたる8000人に間もなく届きそうです。昨年は登録者が当院へ入退院された場合はかかりつけ医にその情報がすぐに報告されるシステムも構築されるなど、有効利用の輪はどんどん広がっています。今年度は県立病院間の医療情報共有は統合システム「ステラ」の導入により確立しました。今後は県立病院のネットワークが、大学や地域の医療期間との共有へと進む予定です。

これらの地域包括ケアの実践のために、今年度の当院のkey wordを「共感」としました。

職員同士も、患者さんとも「共感」する心をもって接し、来院された患者さん全てに「安心感」と持つて頂ける様に、心のこもった質の高い医療を提供していきたいと考えています。

昨年、大きな話題となって全国的に検討された「働き方改革」は、当院でも職員の皆さんから沢山の提案や工夫を頂き取り組んできました。「職員の幸せ」なくして「地域の幸せ」は目指せないと思っていますので、今年度も職員の働く環境の改善が少しずつでも進んでいく様に努力して参ります。そして今年も、職員一同一丸となって、「地域から信頼される病院」を目指します。

医療を通じて地域に貢献する事で得られる「達成感」「幸福感」を、職員全員が、体感できる一年にしていきたいと思っています。

今年度もどうぞよろしくお願い致します。

2

新任医師の紹介

消化器内科長 朝倉 謙輔



今年度より、消化器内科長として久慈病院に着任しました、朝倉謙輔です。

久慈圏域の地域医療に貢献できるよう、頑張ってまいります。

よろしくお願ひいたします。

第2整形外科長 近江 礼



このたび、平成31年4月に整形外科に着任致しました。

平成12年に東北大学を卒業後、東北大学の関連病院で整形外科の研修を行いました。その後、主に肩関節外科の研究と臨床に従事しました。

昨年度は、前任地で108件の肩関節の手術を執刀しました。

運動器疾患でお困りの患者様に少しでも力添えができるよう精進してまいります。

よろしくお願ひいたします。

消化器内科医長 郷内 貴弘



今年度より消化器内科医長として県立久慈病院に着任となりました郷内貴弘です。

専門分野である内視鏡診断・治療を武器に、県北沿岸地域の医療に貢献していくたいと考えております。

よろしくお願い申し上げます。

外科医長 畠中 智貴



今年度より県立久慈病院で勤務させていただくことになりました、外科6年目の畠中智貴です。

県立病院の常勤は今回が初めてであり戸惑うことも多い今日この頃ですが、少しでも早くこちらの環境に適応し地域の皆様のお役に立てればと考えています。

何卒、よろしくお願ひ申し上げます。

歯科口腔外科医長 野宮 孝之



本年度より歯科口腔外科医長として久慈病院に着任いたしました野宮孝之と申します。

早く職場になじんで患者に信頼される治療をするよう努力していく所存です。

どうぞよろしくお願ひいたします。

北リニアスの風

北リ亞スの風

循環器内科医師 佐々木 弘揮



本年度より久慈病院にて勤務させて頂くことになりました、循環器内科の佐々木弘揮と申します。

久慈に住むのは初めてなので久慈の魅力を堪能しつつ、社会人として少しでも成長できるよう頑張ります。

何卒よろしくお願ひいたします。

リハビリテーション科医長 佐藤 光信



今年度よりリハビリテーション科医長として着任致しました佐藤光信です。

4月からゲオで借りた「あまちゃん」を見て、テーマソングを口ずさみながら楽しんでおります。

早めに久慈市民になれるよう頑張りますのでよろしくお願い致します。

整形外科医師 大矢 康貴



本年度より県立久慈病院整形外科で働かせていただけることとなりました。

平成31年3月まで当院研修医として勤務しておりましたが、整形外科医としての1年目を、久慈病院でスタートできることをうれしく思っております。

1年間、よろしくお願ひいたします。

泌尿器科医師 薄 善孝



本年度より県立久慈病院の泌尿器科にて勤務させて頂きます、薄善孝と申します。

若輩者ですが、久慈医療圏の地域医療に貢献できるよう、頑張っていきたいと思います。

よろしくお願ひいたします。

臨時消化器内科医師 山田 峻



本年度より久慈病院消化器内科に配属になりました山田峻と申します。

まだまだ若輩者で、至らぬ点も多々あるかと存じますが、久慈医療圏の地域医療に微力ながらも貢献できるよう頑張りますので、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

臨時小児科医師 白倉 正博

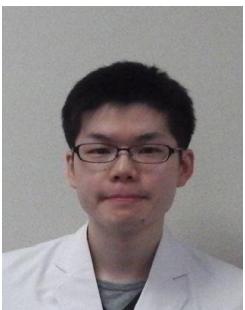


本年度より県立久慈病院にて勤務させて頂きます、白倉正博と申します。

ここ数年は小児科医が1名で、数名の応援医師（大学）と不定期で震災支援の医師とで久慈の小児医療を守って参りました。

若輩者で。また大学院を卒業したばかりですが、久しぶりの臨床を頑張ります。お願いします。

臨時消化器内医師 佐々木 登希夫



今年度より、県立久慈病院の臨時消化器科医師として着任しました、佐々木登希夫です。

若輩者ですが、久慈圏域の医療に貢献できるよう頑張つてまいります。

よろしくお願ひいたします。

1年次臨床研修医 阿部 真璃奈



研修医としてお世話になります阿部真璃奈と申します。自治医科大学出身です。

謙虚な姿勢を忘れずに積極的に学んでいきたいと思います。

未熟者で至らぬ点も多くあるかと思いますが、精一杯努力して参りますので、よろしくお願ひいたします。

1年次臨床研修医 石川 健太



この度、県立久慈病院で初期研修をさせていただくことになりました、岩手医科大学卒の石川健太です。

新しい環境にまだ慣れていない上に、まだまだ未熟者なので、ご迷惑をおかけすることも多々あるかもしれません、日々岩手県の人々の力になれるよう精進しますので宜しくお願ひします。

1年次臨床研修医 奥津 美里



この度久慈病院で初期研修させていただくことになりました、奥津美里と申します。

至らない点も多々あるかと思いますが、真摯に患者さんと向き合い、医師として日々成長できるよう精一杯頑張りますので、2年間よろしくお願ひ致します。

1年次臨床研修医 坂岡 雅史



この度、県立久慈病院にて初期研修を行うことになりました坂岡雅史と申します。

至らぬ点も多々あるかとは思いますが、ひとつでも多くのことを学び、自分で行動していくように、努力して行こうと思いますので、どうぞよろしくお願ひ致します。

1年次臨床研修医 高岡 秀輔



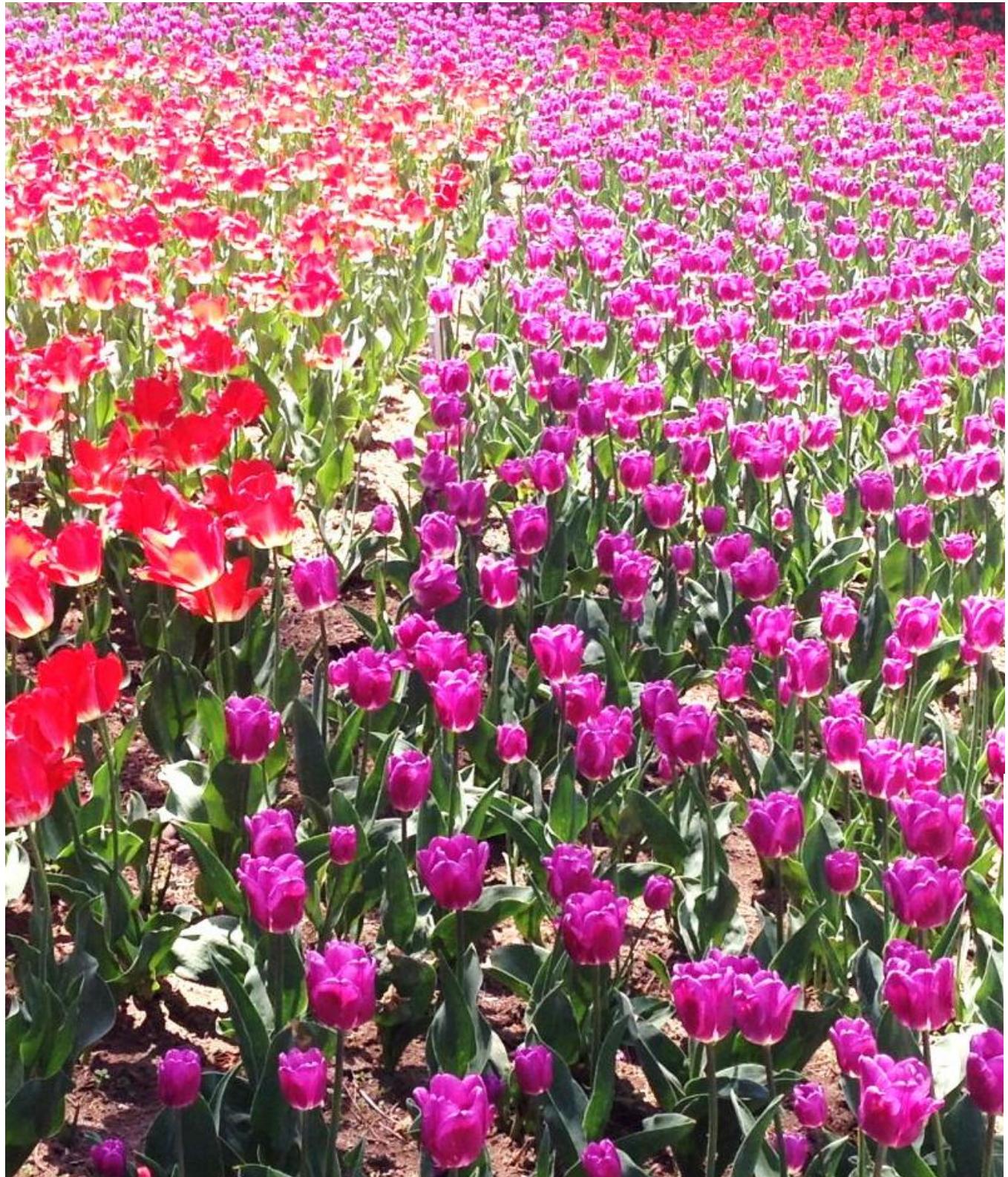
この度、久慈病院で初期研修をさせていただくことになりました、岩手医科大学の高岡秀輔と申します。

まだわからない事も多い若輩者ではありますが、精一杯頑張っていきたいと思います。

至らぬ点が多くあると思いますが、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。

北リースの風





北リアスの風

2019年 春号

